

図書館 だより

LIBRARY
INFORMATION
ゆっくり本を楽しむ

今月のおススメ

「卒業するわたしたち」
加藤千恵 著

「となりのせきのますだくん」
武田美穂 著・絵

4月 図書館カレンダー

2022年		April						
日	月	火	水	木	金	土		
					1	2		
3	4	5	6	7	8	9	◎	
10	11	12	13	14	15	16		
17	18	19	20	21	22	23		
24	25	26	27	28	29	30		

うらかな春日和が続き、桜が見ごろを迎える季節になりました。桜は多くの日本人に愛され、本や歌、詩、俳句などに題材として描かれています。特に本には、恋愛やミステリー、怪談、小説などさまざまなジャンルがあり、桜の人気ぶりを物語っているかのようです。そして、花の散り方の美しさから「別れ」、入学式の時期に咲くことから「出会い」がイメージされ、これらを題材にした本が数多く出版されています。今回は、「別れ」と「出会い」をテーマにした本を紹介します。

「卒業するわたしたち」

吹奏楽部の1年後輩の男子に密かに思いを寄せる女子が、告白をできずに卒業が迫ってくる「流れる川」や女性アイドルグループのメンバーが脱退することを知った、ある女子ファンの心情を追う「にじむオレンジ」など、学校の卒業だけではなく、さまざまなことへの卒業を描いた1話完結で全13話の短編集です。どの話からでも読むことができます。



小学館

「となりのせきのますだくん」

日ごろいじわるをしてくるので苦手な隣の席のますだくん。前日にけんかをして、「あたしきょうがっこうへいけない気がする」「きょうは、ぶたれるかもしれない」と、ずる休みをしたくなっている主人公のみほちゃん。この本だけでも友達との関係などさまざまなことを考えさせてくれますが、ますだくんの視点から描かれた続きのシリーズを読むと感想が変わっていきます。



ポプラ社

■休館日：月曜日(祝の場合は翌日)、図書整理日

◎お話し会：4月9日 午前10時30分から

【お知らせ】

◎お話し会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる場合があります。

図書館ホームページでは、利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶



☎ 図書館 ☎ 029-897-0647

歴史

にふれる

見ごろを迎える 下大津のサクラ



▲樹齢100年を超える「下大津のサクラ」

日本人と桜の歴史は、縄文時代に山桜の木や樹皮などを道具や器などに利用したことに始まるとされています。奈良時代に作成された『万葉集』にも桜の歌が詠まれますが、鑑賞として桜が扱われるのは平安時代の国風文化で、『古今和歌集』に登場する花の中で桜を扱った和歌の数が圧倒的に多いです。この頃、公家や貴族は、こぞって自らの庭園に山桜を移植し、満開の桜の下で歌を詠み、酒を酌み交わす「花見」が行われるようになりました。時代は下って、天下統一を果たした豊臣秀吉が、京都の醍醐寺で諸大名を招き「醍醐の花見」を行ったことは有名です。

江戸時代には、8代将軍徳川吉宗が、桜の木の浄化作用を利用して江戸の各地の水路や川岸に大量の桜を植えることを命じ、さらに上野・飛鳥山・向島

などにも行楽の場として移植を勧め、江戸の桜花見の三大スポットとなりました。そうした中、江戸時代後半には、植木・盆栽の文化、さらには花鑑賞の文化が高まり、桜の品種改良が進められます。染井村(豊島区駒込)では、日本種のエドヒガンとオシマザクラとの種間雑種と考えられる品種「染井吉野」が完成し、多くの地域や人々に好まれ、日本の桜の8割を占めるようになりました。

明治時代には、韓国や台湾、そして諸外国(カナダのバンクーバー、アメリカのマンハッタン、ワシントンDCなど)にも日本の染井吉野が数万本の単位で移植されていきました。

茨城県の桜に目を向けると、土浦市立真鍋小学校に所在する県指定文化財「真鍋のサクラ」が有名です。明治40年に植樹したとされ、樹齢100年以上の桜として保存されています。この桜よりも古いと伝えられる桜が、かすみがうら市の「下大津のサクラ」です。明治37年に5、6年経った桜の苗木を植えたもので、樹齢は真鍋のサクラを超えます。現在も立派な枝振りに、たくさんの花を開花させる姿は圧巻です。開花期間中は、保存会によってライトアップも行われますので、見学に訪れてみませんか。

場所：旧下大津保育所跡

☎ 歴史博物館 ☎ 029-896-0017

一緒にスポーツやってみませんか？



☎ スポーツ振興課 ☎ 029-898-9907

今月のテーマ なかよしクラブ「なかよしよさこい隊」と「軽音楽部」

総合型地域スポーツクラブに参加しませんか

地域住民によって運営され、さまざまなスポーツ体験などを実施しているクラブで、市内に2団体あります。



- ・なかよし ☎ 090-2417-8502(大和)
- ・エンジョイスports ☎ 090-2420-7846(高田)

「なかよしよさこい隊」

なかよしよさこい隊は男女21人(小・中学生2人含む)のメンバーがそれぞれの都合に合わせて練習に参加し、ソーラン関係の曲だけではなく、ねばねば音頭やダンシングヒーロー、カニサンバなどのさまざまな曲の演舞を練習して楽しんでいます。



介護施設などに訪問し、お揃いの衣装を身に付けて練習の成果を発表する「ふれあいたい活動」だけでなく、かすみがうら祭のステージでの演舞やかすみがうらマラソンの応援、生涯学習フェアでの発表

など積極的に活動してきました。現在はコロナ禍でこれらの活動が中断していますが、早く再開することを願いつつ練習しています。楽しく演舞することを目指しており、初めての方でも大歓迎です。一緒にやってみませんか？

◎毎週 午前10時30分

「軽音楽部」

軽音楽部は現在10人で、ギター・ハーモニカ・木琴・キーボードなど多様な楽器を混成して、唱歌・童謡・民謡・歌謡曲などさまざまな曲を楽しみ練習しています。生涯学習フェアで発表したり、歌声サロンにも参加しています。「ふれあいたい活動」も再開すれば喜んで参加する予定です。



皆さんに親んでもらえるような、楽しむ軽音楽を目指しています。経験はないけど、やってみたい方がいましたら、一緒にやってみませんか？

◎毎週 午後1時、毎週 午後9時

文芸ひろば

投稿作品

千代田俳句同好会 落下せし命の重み春の雪 土蹴って水仙の芽の力かな リハビリの足踏み百回春立てり 屋根瓦一枚づつの春の雪 朝東風の揺らす小枝や柔らかに	紫陽花俳句会 待ちわびし庭の片隅福寿草 春炬燵手足伸ばして巣籠りぬ 一跨ぎ歩幅大きく犬ぶぐり 紅梅の日毎膨らむ通い道	出島短歌会(霞ヶ浦中学校生徒の作品) 地球とは宇宙の中のただの星無限に広がる宇宙の一部 柏崎サッカーしていると老人がはしっこにいて井戸端会議 どれ程の思いを乗せた言の葉も空の君には届く事無く セミが鳴くにわたりも鳴く帰り道人沈黙さえも笑いに変える この日は雨太陽が顔出し外に出る2本の虹はまるで割り箸	投稿作品 北京五輪スケートの羽生選手けがでも果敢に挑戦し華麗な演技に感動する 枯れゆくもりんどう凜と刈り原に初陽を浴びて立ち尽くしおり アルバムを繰ればあの日が蘇る子等と訪ねし蔵王駒の里 年老いて命尊うとし喜びの孫より来たる結びの便り 寂聴さん多くの苦痛和らげて天台様のお心へ行く 栗畑冷たい風の吹く中をコンコンとお狐様が バスポート仕舞ひて三年目の雛 空青き湖は静かなりベダル踏む 玲瓏たる水瀑ありて木々の中 寺の門くぐりて静か夕桜	齊藤勝広 中島良平 石塚清 近藤善康 横井正子 兼西清治 関和代 竹村啓子 いいだいを	服部ティヴ 坂本浩哉 関川叶夢 渡辺一輝 大和田瑠美奈 久保庭悦子 島田和子 田能幸雄 福田宏通 今井守 福田妙子 萩原初枝 中島暉子 桜井筑蛙
--------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集します。4月4日までに秘書広報課(〒315-8512 上土田461)へお願いします。
※応募多数の場合は掲載されない場合があります。また、「電話番号・漢字にはふりがな」の記載をお願いします。